

News Release

各位

2011年5月12日
株式会社リンクアンドモチベーション

2011年 「経営者が求める人材」についての調査
経営者が新入社員に求めるのは、“知識や資格”よりも“生きる力”
 ～コミュニケーション能力と主体性を持つ若手を求めている～

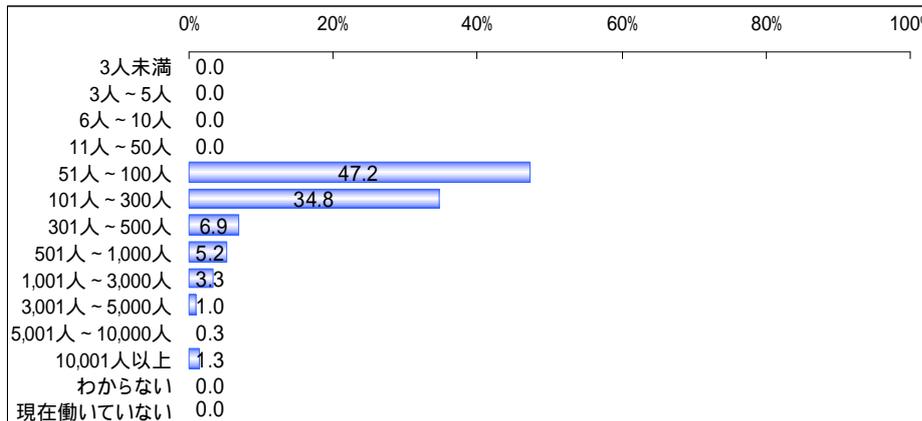
経営コンサルティングを手がける株式会社リンクアンドモチベーション(東証一部、本社:東京都中央区、代表:小笹芳央、以下LM)の研究機関『モチベーション研究所』は、経営者305人に「求める人材について」調査を実施しました。

経営者が求める人材を調査することによって、企業と従業員、企業と応募者との望ましい関係の在り方を探るという目的のもと実施しております。また、今回は(株)モチベーションアカデミア(高校生向けの学力と生きる力を育む進学塾を展開)からの依頼により、経営者が求める素質を高校生から育む必要性についても調査しております。合わせてご参照ください。

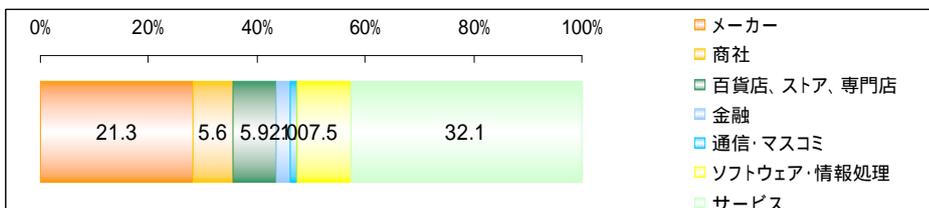
調査概要

- 【調査名称】 「2011年 経営者が求める人材についての調査」
- 【回答形式】 インターネットでの無記名形式
- 【調査期間】 2011年4月9日～4月12日
- 【対象人数】 305名の企業経営者

あなたのお勤めの会社、もしくは経営されている会社の従業員数をお答えください。
 パート・アルバイトは除いてお答えください。



あなたの会社の業界を教えてください。



調査結果サマリ

【新入社員に求めるものは“専門知識や資格”より“生きる力”】

専門スキルは不要。経営者が新入社員に求めるのは“コミュニケーション能力”や“主体性”

- 新入社員に求める素質の上位項目は「コミュニケーション能力」「主体性」「課題解決力」
- 新入社員に求める素質の下位項目は「会計知識」「PCスキル」「語学力」「業界に関する専門知識」

経営者が求めている素質と、実際の新入社員に広がる大きなギャップ

- 近年の新入社員はレベルが落ちていると実感している
- 近年の新入社員は「PCスキル」はあるが、「コミュニケーション能力」「主体性」がない

【“生きる力”は高校卒業までに身につけるべき】

現在の大学入試システムではビジネスで活躍できる人材は育成できない

- 経営者の83.9%が、現在の大学入試システムではビジネスで活躍できる人材が育成できないと回答

高校卒業までに「コミュニケーション能力」「一般常識」「論理的思考力」を身につけるべき

- 経営者が高校卒業までに身に付けておいたほうが良いと思う素質は、
コミュニケーション能力(56.4%)、一般常識(48.2%)、論理的思考力(33.1%)

参考

(理想の新入社員は?)

- 男性：1位 石川遼(29票) 2位 坂本龍馬(27票) 3位 豊臣秀吉(23票)
- 女性：1位 上戸彩(8票) 2位 蓮舫(7票) 3位 津田梅子(6票)

(未曾有の震災を受け“これからの日本に必要な人材”は?)

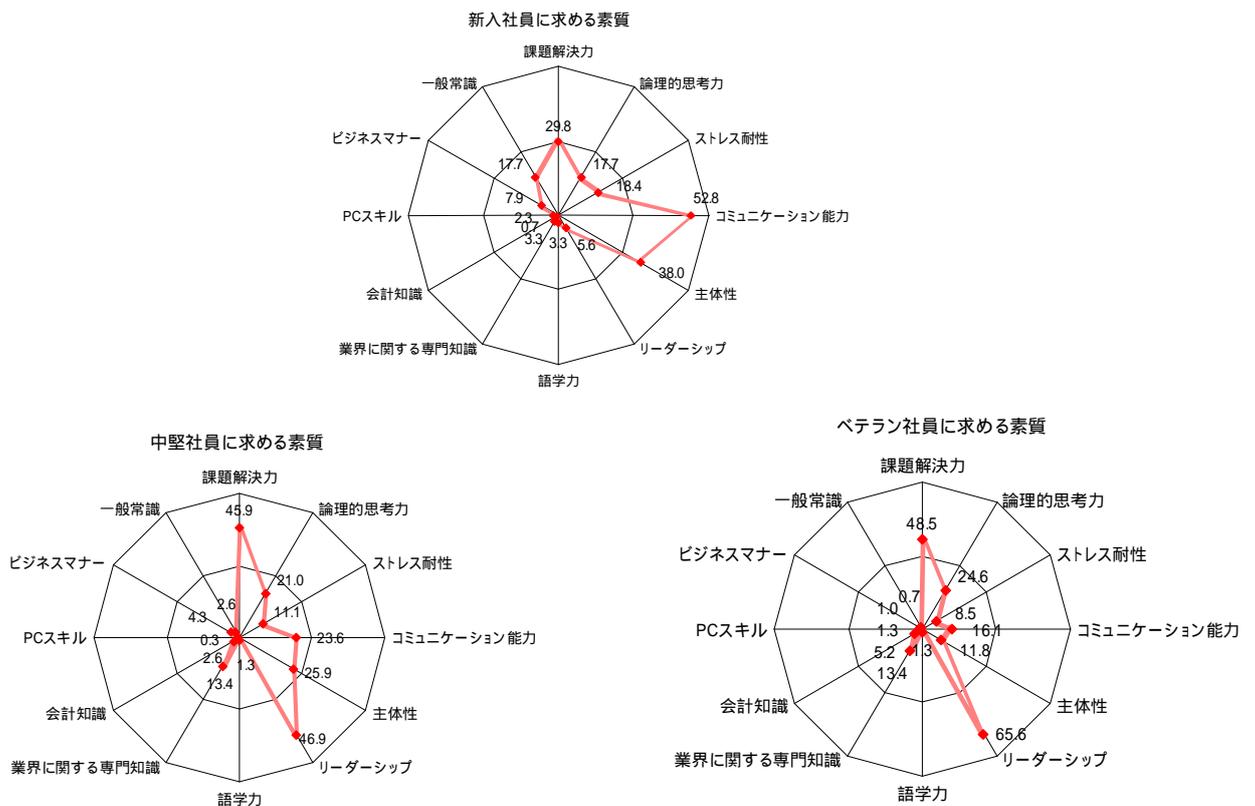
- 1位 坂本龍馬(44票) 2位 上杉鷹山(27票) 3位 田中角栄(21票)

調査結果 詳細

新入社員に求める素質は“コミュニケーション能力”や“主体性”

経営者が新入社員に求める素質について質問したところ、「コミュニケーション能力」、「主体性」、「課題解決力」など、仕事を進めていく上での本質的な素質が上位に上がりました。特に「コミュニケーション能力」は先輩社員よりも強く求めている傾向にあることが分かりました。

Q2 新入社員、中堅社員、ベテラン社員それぞれに求める素質は何ですか。(上位2つ選択.N=305)



「新入社員に対して、社会人として本質的な“生きる力”を強く求めている」

経営者が新入社員に求める素質は、1位は「コミュニケーション能力」(52.8%)、2位が「主体性」(38.0%)、3位が「課題解決力」(29.8%)となりました。特にコミュニケーション能力は半数以上の経営者が新入社員に求める素質として挙げており、重要な素質であることが分かります。

一方、「会計知識」(0.7%)、「PCスキル」(2.3%)、「語学力」(3.3%)、「業界に関する専門知識」(3.3%)などの専門的知識については、あまり求めていません。

経営者は入社してからでも学べるようなスキルよりも、「コミュニケーション能力」や「主体性」、「課題解決力」などの社会人として本質的な“生きる力”を強く求めているということが伺えます。

「新入社員には“コミュニケーション能力”と“主体性”。

中堅・ベテラン社員には“課題解決力”と“リーダーシップ”を求める」

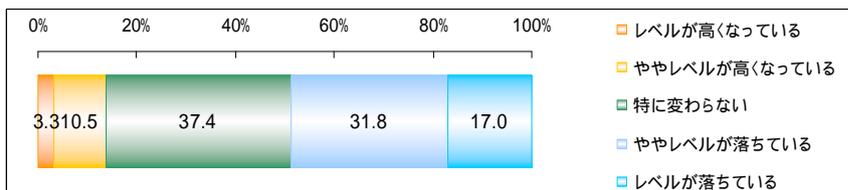
経営者が求める素質を新入社員、中堅社員、ベテラン社員で比較をすると、新入社員に特に求められる素質は「コミュニケーション能力」と「主体性」であるのに対し、中堅社員とベテラン社員に求められる素質は「課題解決力」と「リーダーシップ」という結果になりました。

経営者が求めている素質を持った新入社員が減っている

経営者から見た近年の新入社員の質について質問したところ、近年の新入社員は総合的な能力でレベルが落ちてきていると感じているようです。これは、経営者が求めている素質である「コミュニケーション能力」や「主体性」が以前の新入社員と比べレベルが下がったと感じていることにより、経営者が欲しいと思う人材と実際の新入社員には大きなギャップがあることが原因のようです。

Q3 近年の新入社員は、以前の新入社員と比べ、総合的な能力はどのように変わったと思いますか？

(単一回答 N=305)

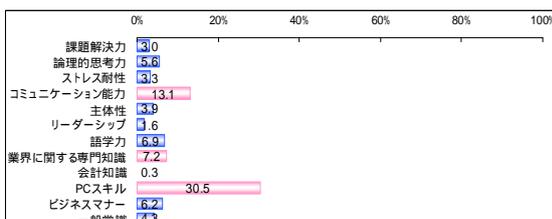


「半数の経営者が“最近の新入社員はレベルが落ちている”と思っている」

近年の新入社員は、以前の新入社員と比べ、総合的な能力がどのように変わったかを聞いたところ、「ややレベルが落ちている」、もしくは「レベルが落ちている」と回答した人がおよそ半数の(48.8%)にも及びました。逆に以前の新入社員と比べ「レベルが高くなっている」「ややレベルが高くなっている」を回答した人はわずか(13.8%)で、近年の新入社員の総合能力のレベルが落ちてきていると感じている人が圧倒的に多いという結果になりました。

Q4 近年の新入社員について、以前の新入社員と比べ最もよくなった点はどこだと思いますか。

(単一回答 N=305)

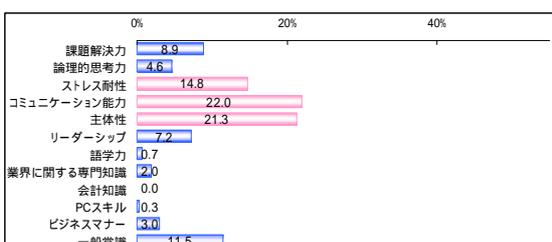


「新入社員のPCスキルは高くなった」

近年の新入社員について、以前の新入社員と比べ最もよくなった点について質問したところ、「PCスキル」のみが(30.5%)と突出して評価されている結果となりました。実務としてのスキルは評価されていますが、その他主体性や課題解決力などの社会人として必要な基礎力は評価されていない現状が浮かび上がりました。

Q5 近年の新入社員について、以前の新入社員と比べ最も悪くなった点はどこだと思いますか。

(単一回答 N=305)



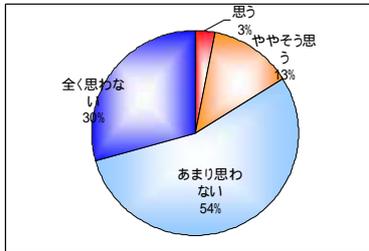
「新入社員の本質的な“生きる力”は低くなった」

近年の新入社員について、以前の新入社員と比べ最も悪くなった点を聞いたところ、「コミュニケーション能力」(22.0%)、「主体性」(21.3%)、「ストレス耐性」(14.8%)が挙げられました。これらの項目は、経営者が新入社員に強く求めている項目(コミュニケーション能力と主体性)とほぼ一致する結果となりました。

社会で求められている素質は高校生活の中でも身につけるべき

高校時代に身につけるべきことを質問したところ「コミュニケーション能力」「主体性」「課題解決力」などが挙がり、これらは新入社員に求められている素質と同様の結果となりました。また経営者が思う、高校生としてやっておきたかったことは、「視野を広げる勉強や活動」で、勉強はもちろん高校時代に視野を広げる勉強や活動をすることで、社会に出てから求められる素質を養う必要があることが強く表れた結果となりました。

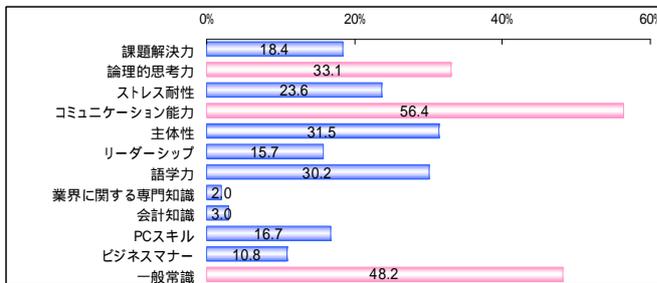
Q6 今の大学入試のシステムで、ビジネスで活躍する人材が育つと思いますか。(単一回答 N=305)



「今の大学入試システムでは、ビジネスで活躍する人材は育たない」

今の大学入試のシステムで、ビジネスで活躍する人材が育つと思うかを聞いたところ、「あまり思わない」が(54.4%)、「全く思わない」が(29.5%)に上り、現状の大学入試システムでは、**ビジネスで活躍する人材が育たないと思っている人が(74.9%)**にもなることが明らかになりました。

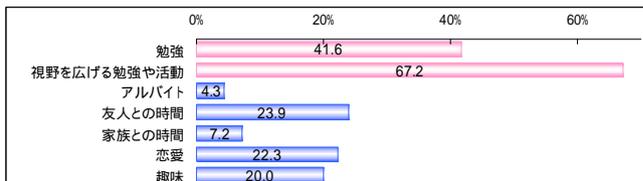
Q7 高校卒業までに身につけておいたほうが良いと思う素質は何ですか。(複数回答 N=305)



「高校時代には、社会で必要になる基礎力を身につけるべき」

高校時代に身につけておいたほうが良いと思う素質は、「コミュニケーション能力」(56.4%)「一般常識」(48.2%)「論理的思考力」(33.1%)が選ばれる結果となりました。一般常識はもちろん、新入社員として求められる社会的な基礎力を高校時代に培う必要性があると考えているようです。

Q8 もしも高校生に戻れたら力を入れたいことは何ですか。(複数回答 N=305)



「高校時代には、視野を広げる勉強や活動をしておきたかった」

もしも高校生に戻れたら力を入れたいことは何かを聞いたところ、「視野を広げる勉強や活動」が最も多く(67.2%)の回答を集めました。次いで「勉強」という回答が(41.6%)となり、高校時代に勉強することの重要性を強く感じている一方で、勉強だけでなく視野を広げる勉強や活動など幅広い活動をすることが重要だと考えている会社経営者が多いことがわかりました。

(付属) 調査結果

Q9. 理想の新入社員 ” から連想する男性有名人は誰ですか。(フリーアンサー N=305)

- 1位 石川遼 (29票)
- 2位 坂本龍馬 (27票)
- 3位 豊臣秀吉 (23票)
- 4位 斎藤佑樹、 5位 島耕作、 6位 イチロー、 7位 サラリーマン金太郎

Q10. “理想の新入社員 ” から連想する女性有名人は誰ですか。(フリーアンサー N=305)

- 1位 上戸彩 (8票)
- 2位 蓮舫 (7票)
- 3位 津田梅子、マーガレットサッチャー、宮里藍 (6票)
- 6位 ベッキー、7位 おしん

Q11. 未曾有の震災を受けた “これからの日本に必要な人材 ” から連想する有名人は誰ですか。

(フリーアンサー N=305)

- 1位 坂本龍馬 (44票)
- 2位 上杉鷹山 (27票)
- 3位 田中角栄 (21票)
- 4位 松下幸之助、孫正義、
- 6位 石原慎太郎、
- 7位 吉田茂、小泉純一郎

お問合せ先

本調査報告に関するお問合せ先

株式会社リンクアンドモチベーション モチベーション研究所 所長 田中 康之

TEL:03-3538-8671 FAX:03-3538-8672 E-mail:motiken@lmi.ne.jp

本リリースに関する報道関係者のお問合せ先

株式会社リンクアンドモチベーション コーポレートデザイン本部 社長室 結城 典子

TEL:03-3538-9517 FAX:03-3538-8672 E-mail:pr@lmi.ne.jp

株式会社リンクアンドモチベーション <http://www.lmi.ne.jp/>

代表取締役社長:小笹 芳央 資本金:979,750,000円 証券コード:2170(東証一部)

本社:東京都中央区銀座3-7-3 銀座オーミビル Tel:03-3538-8671(代表) 創業:2000年4月

事業内容:モチベーションエンジニアリングによる企業変革コンサルティング

モチベーションマネジメント事業(組織・ブランド戦略)、エントリーマネジメント事業(採用戦略)

グループ会社:株式会社リンクインベスターレーションズ、株式会社リンクプレイス、株式会社リンクツーリスト

株式会社リンクスポーツエンターテインメント、株式会社リンクダイニング

株式会社モチベーションアカデミア、株式会社レイズアイ